



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
早良区社協事務所（早良区社会福祉協議会）
 福岡市早良区百道 1-1-1 UMIBE BLD.1 階
 TEL: 092-832-7383 FAX: 092-832-7382
 Eメール: sawaraku@fukuoka-shakyo.or.jp

飯倉中央校区

～新学期の朝に安心を～

登校見守りに企業が協力！

令和6年度、飯倉中央校区では全町内で「高齢者地域支援会議（※）」を開催し、自治会長・民生委員・児童委員・ふれあいさん（校区社協見守りボランティア）の間で、見守り活動の情報共有や地域活動の困りごとを話し合いました。そのような中、ある町内では、「ボランティアの高齢化やPTAの多忙化によって、登校時の安全見守り（旗振り）の担い手が不足している」との意見が出ました。校区では、各学期の始めの1か月間は、一斉の旗振りを行なっているそうです。



そこで飯倉中央校区近隣に所在し、他の地域で旗振り活動の実績がある西部ガス・カスタマーサービス（株）福岡西事業所に協力を依頼したところ、快く承諾してくださいました。早速4月から活動をスタートし、新生活を迎えた子どもたちと元気な挨拶を交わす様子が見られ、地域の皆さんからも喜びの声が寄せられています。

※高齢者地域支援会議とは

地域包括ケア（高齢になっても誰もが個人として尊重され、最期まで住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができるよう、保健（予防）・医療・介護・生活支援・住まいの5つのサービスが一体的に切れ目なく提供される仕組み）の推進を目指し、地域住民や行政・関係機関が連携しながら協議する場。



地域住民の声

西部ガス・カスタマーサービス（株）福岡西事業所の方には、仕事前の朝、お忙しい時間帯にご参加いただき、恐縮するとともに大変ありがたく思っています。



西部ガス・カスタマーサービス（株）社員の声

いつもお世話になっている地域に貢献できることをありがたく感じております。子どもたちから活力をいただき、最高の一日のスタートになりました。

飯原校区



“みんなが”

いきいきと暮らせるまちを目指して

～福祉のまちづくりプラン(※)を改定しました～

平成27年、飯原校区では「飯原の高齢社会を考える」をテーマに、高齢等で手助けが必要な人を支えるために、地域でできることについて話し合う場を設けました。そして、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、校区全体で取り組んでいく「飯原校区いきいきプラン」をまとめました。

今回、2025年を迎えるにあたり、プランの振り返りと改定を行ないました。振り返りでは、「この10年間で校区住民にプランを浸透させることができなかった」「高齢者ばかりでなく、子どもたちにも目を向けたい。校区のどの団体も地域づくりに関わる必要がある」等の意見が出ました。

これらの意見を踏まえ、新プランでは子どもから高齢者まで「“みんなが”いきいきと暮らせるまち飯原」を目標に内容を改定しました。新プランに基づき、これから飯原校区は子どもも高齢者も、みんなが輝ける地域づくりを目指していきます。

※福祉のまちづくりプランとは

自分の住むまちを見つめ直し、「どんなまちにしたいか」「そのために自分たちにできることは何か」を考え話し合うことから始め、実際に活動に取り組んでいく過程を目に見える形にまとめたものです。



▲新プランの内容

早良区のボランティア活動紹介

《切手整理ボランティア》

早良区社協では、使用済み切手を集めています。集められた切手は、ボランティアの方々をお願いして、整理していただいています。整理された切手は換金され、貸出用の車いすや福祉教育の教材の購入費等に充てられています。

【活動日】
毎月8日
(閉所日の場合は直後の開所日)
14:00～15:00

《早良区傾聴ボランティアグループ「ふくろう」》

早良区でのボランティア講座から立ち上がった傾聴ボランティアグループです。主に早良区内の高齢者施設で活動していますが、個人宅でも活動しています。また、火曜日を「傾聴の日」に定めて活動しています。

【定例会】
毎月1回(日付不定)

《クローバー絵手紙の会》

早良区でのボランティア講座から立ち上がった絵手紙ボランティアグループです。描いた絵手紙は地域のふれあいサロンやふれあいネットワーク活動を通じて、主に高齢者の方々に配布しています。

ボランティアが作成した絵手紙▶



【定例会・活動日】
毎月第2水曜日
10:00～

上記ボランティア活動への参加や見学等をご希望の方は、事前に早良区社協事務所までお問い合わせください。その他のボランティアについてのご相談も、随時受け付けています。